

2006 年度

科目名 考古学概説 A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 犬木 努
授業テーマ 考古学の基礎を学ぶ（その1）		
授業の概要と目標 本講義では考古学の基本に立ち返り、その基本的な方法論について、具体例を交えながらわかりやすく解説する。また、各時代の様相について、具体的事例を交えながら検討する。本来、考古学とは遺跡や遺物（遺跡から掘り出された「物＝モノ」）から、過去の人間の営み（「事＝コト」）を復元する学問である。過去の人々が残してくれたモノは、往々にして寡黙であるが、こちらが上手に語りかけてやると、実に様々なことを雄弁に語ってくれる。本講義では、遺跡や遺物から過去の歴史へとアプローチするための基礎的方法を習得することを目的とする。		
評価方法 夏期休暇に課すレポートと学年末に行う筆記試験によって行う。出席点も重視する。		
テキスト 使用しない。毎回、資料を配布する。	著者	出版社
参考書 授業中に適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. ガイダンス 2. 旧石器時代の考古学（1）世界の旧石器——旧石器時代とはどのような時代か？ 3. 旧石器時代の考古学（2）日本の旧石器——日本列島における旧石器文化 4. 縄文時代の考古学（1）縄文時代とはどのような時代か？ 5. 縄文時代の考古学（2）縄文土器の世界 6. 縄文時代の考古学（3）縄文人の生活空間（衣食住） 7. 縄文時代の考古学（4）縄文人の生存戦略（環境、生活暦、交易） 8. 縄文時代の考古学（5）縄文人の精神世界（埋葬、習俗） 9. 弥生時代の考古学（1）弥生時代とはどのような時代か？ 10. 弥生時代の考古学（2）弥生土器の世界 11. 弥生時代の考古学（3）弥生人の生活空間（衣食住） 12. 弥生時代の考古学（4）ムラからクニへ——国際社会への登場 13. 弥生時代の考古学（5）弥生時代の墓制、埋葬——集団墓から個人墓へ 14. 弥生時代の考古学（6）弥生人の精神世界（埋葬、習俗） 15. 試験 ※ただし、項目によっては数回にわたって行う。また、この順序で授業を進めない場合もある。		